

長久手市行政評価票 (A票: 事業評価票)

事業番号	38	事業名	成人保健事業	担当部課	福祉部健康推進課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	4	誰もがいきいきと安心して暮らせるまち	決算書 ページ	—
	行政改革指針・重点課題	5	横断的な事務の推進(連携改善)	会計 区分	一般会計
	法定受託事務の有無	有	健康増進法	予算区分(款 一 項 一 目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有	長久手市健康づくり計画	4-1-2 予防費	
	事業開始の背景、経緯等	生活習慣病を予防する対策の一環として、疾病の早期発見・早期治療によって市民の生涯にわたる健康の保持増進を図ることを目的として実施。			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	民間事業者とのみ協働可	(尚者と協働不可の場合はその理由)			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 生活習慣病を予防する対策の一環として、健診の受診により市民が若い世代から健康に関心を持ち、疾病の早期発見・早期治療によって市民の生涯にわたる健康の保持増進を図る。
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 40歳以上の市民(ただし、39歳以下健診は、16歳~39歳以下)
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 若い世代から健康に関心を持ち、健康の保持増進を図る。

項目	単位	区分	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
			(2017)	(2018)	(2019)	(2020)	(2021)
事業費(A)	千円	予算	123,451	148,159	144,327	151,677	153,387
		決算	129,554	136,804	141,090	151,696	
人件費(B)	千円	決算	23,999	23,701	21,607	18,934	
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	153,553	160,505	162,697	170,630	
事業対象の数(D) (R3年度は想定数)	人		30,209	30,721	30,624	28,384	28,951
対象あたりコスト(C/D)の 過去3年平均値	千円		5	5	5	6	

成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
			(2017)	(2018)	(2019)	(2020)	(2021)
健康診査受診者数	人	目標	29,607	30,209	30,721	30,624	28,951
		実績	30,209	30,721	30,624	28,384	
(指標の設定根拠)			(数値目標の根拠)				
受診者数の増加が、疾病の早期発見、早期治療につながるため。			過去の実績から、2%程度の伸び率を設定していたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で受診控えが見られた。令和3年度の目標は、令和2年度実績×1.02とする。				
(前年から指標を変更した場合はその理由)							
(前年までの指標)			健康診査受診者数				

目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一時期検診を中止した。また感染症を気にして受診を控える傾向が見られ、目標に2,240人届かなかった。
活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 緊急事態宣言解除後は、感染症対策に努め、集団検診を継続して実施した。また、個別医療機関における検診期間を1か月延長することで、終盤に受診者数が増える傾向が見られた。
改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 今後は検診を受けることは不要不急ではないことを伝え、疾病の早期発見には定期的に検診を受診することが必要であることを啓発していく。

事業を構成する 事務事業①	39歳以下健診事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)
	(1) 【アクションプラン】 39歳以下健診受診者数	人	見込	340	360	380	400	400
			実績	251				
	(2)		見込					
実績								
(3)		見込						
		実績						
<備考:活動の概要(R2年度(2020))> ・39歳以下健診 5日間実施 251人受診							今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する 事務事業②	39歳以下健診事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込					
実績								
(3)		見込						
		実績						
<備考:活動の概要(R2年度(2020))>							今後の方向性	

事業を構成する 事務事業③	39歳以下健診事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込					
			実績					
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の 指定の指標】		見込					
実績								
(3)		見込						
		実績						
<備考:活動の概要(R2年度(2020))>							今後の方向性	

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 若い世代の受診率が低い子宮検診と39歳以下健診を同時に受診できる日を2日間設定し、受診率の向上を図る。
中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 委託料が増額しているため、受益者負担の適正化のため、令和5年度までに自己負担金の見直しを行う。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見 ・「中長期の目標」や行政改革の重要課題に基づく「受益者負担の適正化」にあるように、自己負担の見直しなどにより、市負担分の軽減に努めてください。 ・事業実施にあたっては、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえるとともに、長久手市みんなであつくるまち条例の趣旨に沿ったものとなるよう留意してください。 ・他の健康診査事業との連携(例えば一括契約など)を図ってください。
内部意見への回答	